

プレスリリース 2007.11.13

広告訴求対象を自由に創出することができる カスタム行動ターゲティング広告を開始 ~ ターゲット層との関係を継続的に深める高付加価値ターゲティ ング広告 ~

2007年11月13日

ヤフー株式会社

広告訴求対象を自由に創出することができる カスタム行動ターゲティング広告を開始

~ ターゲット層との関係を継続的に深める高付加価値ターゲティング広告 ~

ヤフー株式会社(以下、Yahoo! JAPAN)は、行動ターゲティングの新たな展開として、広 告主が、求めるターゲット層を自由に創出して広告訴求することで、ターゲット層との関係強化 を継続的に図ることができる高付加価値ターゲティング広告「カスタム行動ターゲティング広 告」を開始します。

最初の取り組みとして、日本航空(以下、JAL)が、顧客との関係強化を目的として「JAL悟 空」のプロモーションにおいてカスタム行動ターゲティング広告を実施します。JALが独自に設 定した条件により「JAL悟空」の想定ターゲットを絞り込み、行動ターゲティングの技術を利用 して広告を訴求します。JALは、今後その他のプロモーションにおいても、順次カスタム行動タ ーゲティングを利用する予定です。

カスタム行動ターゲティング広告は、広告主が指定したキーワードによる検索履歴、広告主が 指定したYahoo! JAPAN内の特定ページの閲覧履歴に加え、広告主が出稿している広告のクリ ック履歴、広告主サイトの訪問履歴などを、行動履歴取得の条件として設定することができる広 告商品です。属性(年齢、性別)との掛け合わせ、エリア情報との掛け合わせにより、さらにき め細かにターゲティングすることもできます。

広告主が自由に条件を設定することにより、広告主自らのプロモーションに合ったターゲティ ングカテゴリを作成できます。行動ターゲティングも含めた既存のターゲティング広告ではカバ ーしきれない理想的なターゲット層へのリーチが可能となり、コミュニケーションを重ねること で消費者とのより深い関係を構築できます。

<商品概要>

- ・カスタム行動ターゲティング プライムディスプレイ 広告主が条件設定した行動履歴(興味、関心)に基づいた対象の絞り込み
- ・カスタムデモグラフィック行動ターゲティング プライムディスプレイ 広告主が条件設定した行動履歴 (興味、関心)、属性(年齢、性別)の掛け合わせによる対象 の絞り込み
- ・カスタムエリア行動ターゲティング プライムディスプレイ 広告主が条件設定した行動履歴(興味、関心)、エリア情報の掛け合わせによる対象の絞り込み

行動履歴の条件設定を行う項目(広告主が自由に設定できます)

- ・検索履歴取得のための検索キーワード
- ・閲覧履歴取得のためのYahoo! JAPAN内のページ
- ・広告主が掲載した広告をクリックした履歴の利用有無
- ・広告主のサイトを訪れた履歴の利用有無
- ※ 広告主のサイトからCookieを取得する場合は、Cookie情報を第三者提供することについて 広告主サイト側のプライバシーポリシーに記載することをお願いしています。

<活用例>

自動車メーカーが、高級時計やゴルフに関心を持つ高所得者層をターゲットとして、高級セダンのプロモーションを行う場合に、高級時計に関連するキーワードによる検索履歴、高級ブランドの情報を掲載したページの閲覧履歴、ゴルフ情報やゴルフグッズ関連ページの閲覧履歴、自社サイトを訪れた履歴、Yahoo! JAPAN内において実施した広告をクリックした履歴などの要素を広告主自身が指定することで、意図する広告訴求対象を創出できます。

[Yahoo! JAPAN] http://www.yahoo.co.jp/

ヤフー株式会社(市場名:東証1部/JASDAQ、銘柄コード:4689、本社:東京都港区、設立年月日:1996年1月31日、代表取締役:井上雅博)が運営するYahoo! JAPANは、1か月あたり約4826万人のユニークカスタマー数(※1)と、1日16億ページビュー(※2)のアクセスを誇るインターネットの総合情報サイトで、検索、コンテンツ、コミュニティー、コマース、モバイルなど多くのサービスを提供しています。

(※1) 2007年9月のNielsen//NetRatings「NetView AMS JP」における家庭からの視聴率88.6%、職場からの視聴率91.7%というデータをもとに、家庭、または職場からのインターネットユーザーを約5434万人(NetRatings Japan「インターネット基礎調査」より)としてYahoo! JAPANのユニークカスタマー数を算出。

(※2) ページビューは、従来ウェブサーバーからの配信回数を計測した値を採用していましたが、2007年3月からブラウザでの表示回数をCSCにより計測した値を採用しています。